

## 春の剪定講習会を開催しました。

5月16日（木）伊興地域学習センター・諏訪木東公園

5月17日（金）足立区役所・中央公園

岩田造園土木（株）の岸本氏を講師に2会場で実施しました。



前半の講義では、まず樹木の正しい切り方について学びました。

ブランチカラーと呼ばれる木の分かれ目の少し膨らんだ部分と、バークリッジと呼ばれる木の分かれ目部分を残して切ると良いそうです。（右写真2枚目）

また、切った方が良い枝、残した方が良い枝についても実際に枝を切りながら説明していただきました。

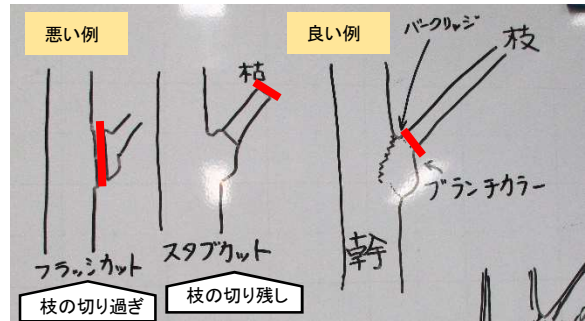


次に、樹木の正しい剪定時期についても教えていただきました。

常緑樹は、3月～4月・6月～7月、落葉樹は、葉が落ちた12月～3月頃に切ると良いそうです。

花木については、アジサイ・コブシ・サクラ類・サツキなどは花が咲き終わったらすぐに剪定を行わないと、翌年花が咲かないそうです。

ぜひ、時期にも気をつけて剪定を行ってください。



後半は、実習を行いました。

まず、剪定バサミの使い方について教えていただきました。剪定バサミで枝を切るときは、枝に対して剪定バサミを斜めに入れると切りやすいそうです。



また、刈り込みバサミで低木の剪定も行いました。刈り込みバサミは、片方の刃は動かさずに固定して切るとうまく切ることができるそうです。

みなさん、講師に教わりながら、低木や生垣をきれいに整えていました。



剪定講習会は、秋（11月予定）にも同様の内容で開催する予定です。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

